

## 2023 年度 日本地域福祉学会事業報告

新型コロナウイルス感染症が5類に移行した2023年度は、コロナ禍で活用されるようになったオンラインによる利便性と対面による会員間のコミュニケーションの重要性を考慮して、事業を実施してきた。

まず、第37回大会（長野大会）は、上田市交流文化芸術センター「サントミュージゼ」、長野大学で、「地域福祉が目指す『あんしん未来』を問う」というテーマのもと4年ぶりに対面で開催することができた。長野大会実行委員会の皆様には心より感謝を申し上げたい。

また、2023年度に引き続き、地方部会・地方委員の懇談会を年に2回、オンラインで開催した。懇談会では、会員拡大にむけた取り組みや、各地方部会の取り組みを紹介し合い、複数のブロックが共催で企画を実施するなど、地方部会の組織強化と研究活動の活性化が試みられている。

さらに、研究活動については、「地域福祉アーカイブ研究」「地域福祉と全世代型包括的支援システム研究プロジェクト」に加え、学会の重要な柱の一つである地域福祉実践研究のあり方について研究する「地域福祉実践研究プロジェクト」を新たに立ち上げた。

2024年1月1日、石川県能登半島を震源とするマグニチュード7.6の地震が発生し、日本地域福祉学会では、2024年1月10日に会長声明を発出した。地域福祉について研究と実践を進めてきた学会として、理事、地方委員の皆様、学会員の皆様、学会とつながりのある皆様とともに、また被災地で救援・支援に関わる皆様とともに、学会として取り組むべきことについて検討していく必要がある。

### 1. 日本地域福祉学会大会（第37回大会）および総会の開催

日本地域福祉学会第37回大会は、2023年6月10日（土）、6月11日（日）に上田市交流文化芸術センター「サントミュージゼ」、長野大学（長野県上田市）において開催した。参加者総数408名、自由研究発表72本であった。また、同時に、学会総会を6月10日（土）し、97名が出席した。

さらに、第38回大会の東京都文京学院大学における開催に向けて、実行委員会とともに準備を行なった。

### 2. 地域福祉に関する理論的・実践的研究活動の拡充

- (1) 「地域福祉のアーカイブ研究」（研究代表：菱沼）
- (2) 「地域福祉と全世代型包括的支援システム研究プロジェクト」（研究代表：宮城）
- (3) 「地域福祉実践研究プロジェクト」（研究代表：藤井・永田）

2024年度から本格的に着手する予定の地域福祉実践研究プロジェクトの準備として都道府県、市町村社協の中堅社協職員によるプレ研究会（懇談会）を2回開催した。そこで

今後取り組む研究領域や進め方などを実践現場視点から検討した。なお、当面の実践研究対象を社協実践とし、隣接領域との関連も検討に加えることとしている。

### 3. 出版事業

(1) 学会機関誌『日本の地域福祉』第37号を刊行し、会員の研究発表の機会を充実するとともに、掲載論文の理論的・実証的研究の水準を高めた。

(2) 学会機関誌『地域福祉実践研究』第15号を刊行し、会員の地域福祉実践への関心高めるとともに、その実践研究の水準を高めた。

(3) 「学会ニュース」を年2回刊行し、ホームページ上で発信するとともに情報発信等を拡充した。

(4) 「地域福祉実践研究」バックナンバーのJ-STAGEへの掲載に向けて着手した。

### 4. 地方部会の組織強化と研究活動の活性化

(1) 地方部会の活性化にむけた協議を図るとともに、都道府県単位の活動または複数県にまたがる研究会活動を活性化した。

(2) 地方部会総会を開催し、地方部会担当理事と地方委員の連携を密にし、地方研究会、部会別地域福祉学会研究大会、シンポジウム、研修会などを活発に推進した。

(3) 地方部会間の連携や情報交換を目的に、地方委員、地方部会担当理事、役員による「地方部会懇談会」をオンラインで9月3月の2回開催した

#### ・2023年度第1回

日時 : 2023年9月22日(金) 19:00-21:00

\*20:00~ブレイクアウトセッション 終了後部会ごとに解散

参加者 : 地方担当理事・地方委員 (49名)

#### ・2023年度第2回

日時 : 2024年3月26日(火) 19:00-21:00

\*20:00~ブレイクアウトセッション 終了後部会ごとに解散

参加者 : 地方担当理事・地方委員 (33名)

(4) 地方部会の後援で、会員に加え非会員の研究者や専門職、地域での実践者なども交えた「学習会」(研究活動)を立ち上げた

(5) 上記地方部会活動への団体会員の積極的な参画を図り、いっそうの会員拡大につなげる。

### <地方部会活動状況>

#### 【北海道部会】

①第1回定例研究会 ※北海道地域福祉学会と共催

とき 2023年12月20日(水) 18:30~20:30

ところ 北星学園大学 C 館及びオンライン併用

②第2回定例研究会 ※北海道地域福祉学会と共催

とき 2024年1月30日(火) 18:30~20:30

ところ 北星学園大学 C 館及びオンライン併用

③全道研究大会 ※北海道地域福祉学会と共催

とき 2024年3月3日(日) 10:00~17:00

ところ 北星学園大学 C 館及びオンライン開催

### 【東北部会】

東北ブロックセミナー

日時:令和6(2024)年3月10日(日)13時~16時

共催:災害福祉フォーラム・東北福祉大学

内容:災害福祉と福祉支援活動

基調報告「令和6年度能登半島地震一石川県社会福祉士会災害対応について」

石川県社会福祉士会 会長 末松 良浩 氏 氏

分科会

第1分科会「長期間にわたる災害ソーシャルワーク活動を検討する」

第2分科会「災害時におけるステージごとの福祉的支援と社会参加を考える」

参加者:105名

### 【関東甲信越静岡部会】

① 第19回房総(印旛地区)地域福祉実践研究セミナー

日時:2023年12月16日(土)10:30-16:35

場所:富里中央公民館

テーマ:「地域共生社会における新たな地域づくりと全世代・全対象型地域包括支援について」

主催:富里市・社会福祉法人富里市社会福祉協議会・NPO法人千葉県地域福祉研究会

共催:社会福祉法人千葉県社会福祉協議会・千葉県内市町村社会福祉協議会事務局長会・

千葉社協職員連絡協議会

参加者:170名

実践報告1「富里市の地域福祉の現状と課題の報告」(富里市・富里市社会福祉協議会)

実践報告2「職をつうじた子育て支援」(八街市社会福祉協議会)

「引きこもり支援と就労準備支援」(佐倉市社会福祉協議会)

「心配事相談所から見える高齢者の傾向と取り組み」(白井市社会福祉協議会)

総括講演:「地域共生社会政策の実現に向けて」大橋謙策(日本社会事業大学名誉教授)

② 地域福祉におけるソーシャルネットワーク第21回研究会「アートと介護・福祉の勉強会」

日時:2024年2月16日(金)19:00-20:30

テーマ:「人と地域と制度をつなぐ, ソーシャルなアートプロジェクトを学ぶ」

主催：地域福祉におけるソーシャルネットワーク(SNCD)

後援：埼玉県社会福祉士会，東京都社会福祉士会，日本地域福祉学会関東甲信越静岡会

開催：オンライン

申込者：139名

アートプロジェクトの紹介：

「アートによる縁結び 音まち千住の縁を事例として」吉田武司(東京藝術大学)

「キュレーターが介護の現場に出会って考えたこと」青木彬(インディペンデント・キュレーター)

ディスカッション

コーディネーター：堀崇樹（足立区社会福祉協議会）

### 【東海北陸部会】

2024年1月に開催予定であった東海北陸ブロック研究フォーラム(in石川)は、能登半島地震のため中止となった。

①「東海北陸ブロック研究会 in 愛知 2023」若者を軸にした地域福祉のあり方を考える

日時：2023 年11月26日(日)13:00～16:30

会場：同朋大学 成徳館 5 階 502 もしくはオンライン

プログラム：テーマ：孤立する若者への「関係性」の支援から、地域ネットワークの構築へ～  
弱さを「のりしろ」とした地域づくり～

<講演>一般社団法人草の根ささえあいプロジェクト 代表理事 渡辺 ゆりか 氏

<対談>「若者を軸にした地域福祉のあり方を考える」

一般社団法人草の根ささえあいプロジェクト 代表理事 渡辺 ゆりか 氏

日本福祉大学 学長 原田 正樹 氏

②岐阜県地域福祉学会学習会

ファンドレイジングとは何かー地域福祉の視点からー

講師：久津摩 和弘氏

一般社団法人日本地域福祉ファンドレイジングネットワーク COMMNET 理事長

NPO 法人日本ファンドレイジング協会 理事/認定講師/全国福祉チャプター代表【日時】

日時：2024年3月13日(水) 18時～20時30分

開催形式：オンライン

### 【近畿部会】

2023年度 近畿地域福祉学会大会(兵庫大会)

日時 2023年12月16日(土)9:30～17:00

会場：こうべ市民福祉交流センター

主催：第35回近畿地域福祉学会 兵庫大会実行委員会

テーマ：「地域福祉実践と住民自治との交互作用・相互変容を考える」

■自由研究発表

■特別講演「地域福祉実践と住民自治と政策への展望(仮)」

関西学院大学 名誉教授 牧里 每治 氏

■シンポジウム

「地域福祉実践と住民自治との相互作用・相互変容を考える」

〈シンポジスト〉

住民グループ「こちち」代表 市野 加奈子 氏

桜小地区福祉委員会 委員長 浜上 章 氏

NPO 法人わいわいみ・な・み 副理事長 富森 とも子 氏

〈コーディネーター〉 兵庫大学 准教授 小林 茂 氏

〈コメンテーター〉 武庫川女子大学 教授 松端 克文 氏

【中国部会】

① 令和5年度地域福祉実践研究会第1回研究会

日時：2023年8月5日（土）13：00-16：30（オンライン開催）

テーマ「社会福祉法人・福祉事業所による地域福祉の取り組み」

社会福祉法人地域で暮らす会「小規模多機能型居宅介護いくのさん家」（鳥取県）

三喜株式会社「小規模多機能ホームぶどうの家真備」（岡山県）

社会福祉法人島根ライトハウス「視覚障がい者情報提供施設ライトハウスライブラリー」（島根県）

社会福祉法人優輝福祉会「ともいきの里」（広島県）

社会福祉法人聖光会の協力団体「居住支援法人福栄」（山口県）

② 2023（令和5）年度 日本地域福祉学会 中国部会セミナー

日時：2024年3月13日（水）13：00-16：00

テーマ「地域における孤独・孤立防止の取組・仕組みづくり」

笠岡市健康福祉部+美作大学と松江市社協による実践報告とシンポジウム

【四国部会】

① 「令和5年度第20回四国地域福祉実践セミナーin香川・さぬき」の開催

テーマ「オーダーメイドの支援から地域づくりの展開へ」

ー地域共生社会を目指したこれからの実践を考えるー

日時：2023年7月15日（土）～7月16日（日）

場所：さぬき市源内音楽ホール、さぬき市社会福祉協議会志度支所、

さぬき市役所寒川庁舎

参加者415名

<第1日目>

・鼎談テーマ「ここで住み続けられるまちづくり」

登壇者

徳島県上勝町町長花本靖氏

香川県さぬき市市長大山茂樹氏

日本社会事業大学名誉教授

公益財団法人テクノエイド協会理事長大橋謙策氏

分科会①地域の良さを活かした持続可能な地域づくりを目指して

②「こどもまんなか社会」を目指して

③法人間連携の継続的な取組と強みを目指して

③ 個別の支援から地域づくりの一体的な展開を目指して

<第2日目>

・分科会報告各分科会からの報告

・総括講演大橋謙策氏

「持続可能な地域づくりと福祉はまちづくり」

ー住民の生活を守る地域福祉共済制度の確立を目指してー

### 【九州部会】

「令和5年度九州ブロック地域福祉研究会議（鹿児島大会）」

日時：2024年1月17日（水）～18日（木）

テーマ「住民一人ひとりがつながりを実感できる地域社会の実現を目指して」

<1日目>

基調講演 全国社会福祉協議会地域福祉部副部長水谷詩帆氏

分科会 ①社協の経営・運営基盤強化、②包括的支援体制の構築、③生活困窮者自立支援、④地域における権利擁護支援、⑤社協が担う福祉教育実践

<2日目>

施策の動向 厚生労働省地域共生社会推進室

記念講演 鹿児島大学金子満氏

## 5. 公開研究フォーラム

地方自治体における包括的支援システムの構築が、重層的支援体制整備事業として具体的に全国の自治体において進行している状況下において、そのシステムの構築のプロセスや具体的な内容、その機能が果たす役割などについて公開フォーラムを開催し、広く議論した。

「地域福祉における包括的支援システムの構築と重層的支援体制整備事業」ー実践報告から今後のあり方を探るー

日時：2024年1月27日（土）13：30-16：00 オンライン開催

約170名参加

## 6. 日本地域福祉学会地域福祉優秀実践賞

第21回「日本地域福祉学会 地域福祉優秀実践賞」の募集および選考を実施した。各地の

優れた実践を掘り起こし、当該の実践から学び、広く普及していくために地方部会、全国社会福祉協議会とも協力して選考を行い、優秀実践賞団体を3団体を選出した。

- ・優秀実践賞受賞団体  
一般社団法人 タウンスペース WAKWAK  
鞆の浦・さくらホーム  
社会福祉法人 阪南市社会福祉協議会

## 7. 学会運営について

- ・理事会等の諸会議については原則、オンラインを活用した方法で実施し、会議の効率化、活性化に努めた。
- ・多様性を大切にし、学会のあらゆる活動の中において、多様な人が参加しやすい方法を工夫した。第38回東京大会において、新たに「学会ランチサロン」を大会1日目の昼の時間帯に新規企画。夜の情報交換会に参加しにくい人を含め、大会参加者が相互に知り合い、気軽に情報交換や意見交換ができる場を作ることを目的にする。
- ・事務局の移転を、ソ教連からCLCに移行期間3か月間を設定し、滞りなく進めることができた。

<諸会議実施状況>

### ○理事会

- 第1回理事会：2023年6月2日（金）※Zoomによる遠隔会議
- 第2回理事会：2023年10月27日（金）※Zoomによる遠隔会議
- 第3回理事会：2024年3月29日（金）※Zoomによる遠隔会議

### ○運営委員会

- 第1回運営委員会：2023年5月27日（土）※Zoomによる遠隔会議
- 第2回運営委員会：2023年9月23日（土）※Zoomによる遠隔会議
- 第3回運営委員会：2024年2月24日（土）※対面により実施

### ○三役会

- 第1回三役会議：2023年5月11日（木）※Zoomによる遠隔会議
- 第1回臨時三役会議：2023年8月11日（金）※Zoomによる遠隔会議
- 第2回三役会議：2023年8月24日（木）※Zoomによる遠隔会議
- 第2回臨時三役会議：2023年9月22日（金）※Zoomによる遠隔会議
- 第3回臨時三役会議：2023年9月23日（土）※Zoomによる遠隔会議
- 第4回臨時三役会議：2023年11月7日（金）※Zoomによる遠隔会議
- 第3回三役会議：2024年1月27日（土）※Zoomによる遠隔会議
- 第5回臨時三役会議：2024年2月21日（金）※Zoomによる遠隔会議

- ・学会事務局について2024年度4月1日より、新事務所に移転することを踏まえ学会運営に支障が出ないように移転手続き、事務局引き継ぎを行った。

## 8. 会員拡大と組織化

- ・研究者、社協職員はもとより、社会福祉法人（施設）及びNPO法人などに対象を広げて、会員の拡大と地方部会を通しての組織化に取り組んだ。
- ・また研究者番号を有する会員を獲得していくための方策を検討した。会員拡大に向けて広報に取り組み、周知媒体についても全国社会福祉協議会の協力を得ながら検討をした。
- ・新たに導入した「団体会員」の一層の拡大をはかり、現場の実践研究の裾野を広げ、一般会員の拡大にもつなげた

### <団体会員現況>

全国社会福祉協議会 1 都道府県社会福祉協議会 17 政令都市社会福祉協議会 5  
市町村社会福祉協議会 24 一般社団法人 1 社会福祉法人 2 【合計 50 団体 162 回理事  
事会承認分まで】

## 9. 韓国地域社会福祉学会との研究交流

2020年に更新した「研究交流の推進に関する覚書」に基づき、「日韓地域福祉学術交流委員会」を通じて、韓国地域社会福祉学会との研究交流を進めた。

2023年11月9日－11日 永田会長が訪韓し覚書の取り交わしを行った。

## 10. 他団体との連携と協力

日本学術会議、日本社会福祉系学会連合、社会政策関連学会協議会、ソーシャルケアサービス研究協議会などの関連団体と連携し、その事業・活動に協力を進めた。

以 上